

エレベータージャーナル

ELEVATOR JOURNAL

No. 54

2025年7月発行

㊤ 一般社団法人日本エレベーター協会

C O N T E N T S

● クローズアップ

Osaka Metro 夢洲駅
ゼロカーボンベースボールパーク
TODA BUILDING

● 昇降機業界に携わる人の紹介

エレ人十色 No.12

● 編集後記

クローズアップ



建 物 外 観

Osaka Metro 夢洲駅

宇 野 収 二
(Shuji Uno)

株式会社日立ビルシステム
関西支社 営業技術部

1. はじめに

夢洲駅は、大阪市内を東西に運行するOsaka Metro中央線のコスモスクエア駅から約3.2km延伸した新駅で、梅田駅から30分程の距離にあります。同駅は、大阪・関西万博会場の主要な玄関口として開催期間中は1日あたり最大で13万人の利用が想定されています。

駅の構造は、地下1階がコンコース、地下2階がホームとなっており、ホーム両側に線路を配置した島式ホームで1面2線の構造となります。コンコースは、利用者がスムーズかつ快適に移動できるよう、直線的で広々とした、開放感のあるレイアウトになっています。

また、天井は正確な鉄道の運行ダイヤをモチーフとした折り紙型の形状を採用しています。

改札エリアには、16基の改札機が並び、明るい照明や大型ディスプレイ、分かりやすい案内サインで、人の動線をサポートしています。

2. 建物概要

所 在 地：大阪府大阪市此花区夢洲中1丁目

発 注 者：Osaka Metro

設計者

基本設計、実施設計：

Osaka Metro・株式会社 安井建築設計事務所
施 工 者：大林・熊谷・東急・東洋特定建設工事共同
企業体、日本電設工業株式会社、山田建設
株式会社ほか

施 設 規 模：駅延長 190m

- ・地下1階をコンコース階、地下2階を軌道階とした2層ボックスカルバート構造
- ・幅約19.2m～31.1m、深さ約15.9m～19.3m、島式ホーム1面2線の駅構造

工 期：2021年6月～2025年1月

開 業 日：2025年1月19日

3. 昇降機設備

昇降機設備は、地下1階のコンコースと地下2階のホームをつなぐエスカレーター5台、エレベーター1台があります。

ホーム中央の3台並列エスカレーターは、利用者が集中することを想定されており、スムーズかつ安全に利用できるよう、片側空けを抑止し、二列での立ち止まり利用の誘導を目的とした以下の機能を装備しています。

- ・ランディングプレートに乗り込み方向を表示したLED誘導表示器

- ・点滅で乗降位置を知らせるコムシグナル照明

- ・乗り込みロステップを左右から照射して乗り込み位置を知らせるLED照明

- ・ステップ段差を照射するライザー照明

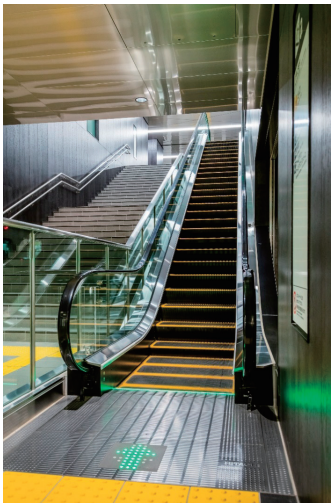
- ・ステップと同じ速度で流れるスカートガードLED照明

これらを組み合わせることで、二列利用への誘導と安全面の注意喚起を行っています。LED照明は、中央線のラインカラーである緑色を採用し、駅舎のデザインとの調和を図っています。

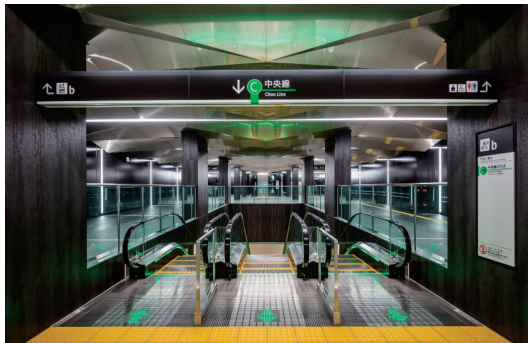
また、ホーム前後にも各1台のエスカレーターを設置し利用者を分散しています。

エレベーターは、ホーム中央部のガラスシャフト内に設置されています。かご室壁3面ガラス構造の福祉対応エレベーターが、利用者の視界を確保することで混雑時でも狭さを感じさせない仕様としています。

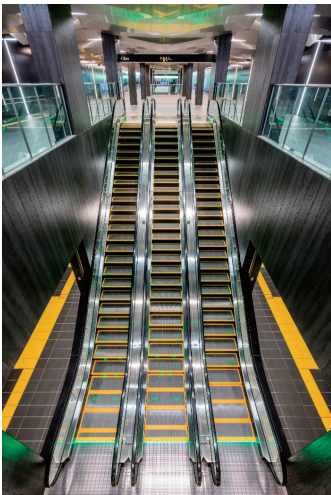
クローズアップ



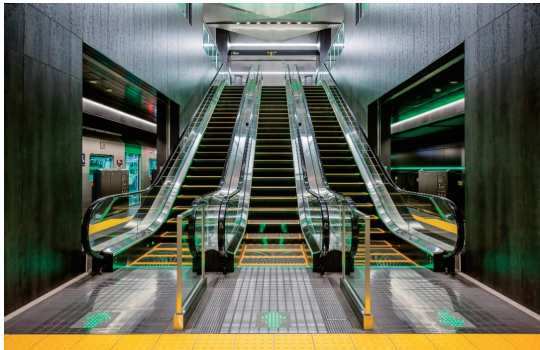
エスカレーター1号機



エスカレーター2～4号機



エスカレーター2～4号機



エスカレーター2～4号機



エレベーター1号機



エスカレーター5号機



エレベーター1号機 かが内

エレベーター仕様

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
1	乗用	乗合全自動	インバーター	1600	24	45	1	2 (ホーム、改札)	日立	車いす仕様、展望用

エスカレーター仕様

号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
1	S1000	透明ガラス	30	ホーム - 改札	5116	1	日立	
2～4	S1000	透明ガラス	30	ホーム - 改札	4921	3		
5	S1000	透明ガラス	30	ホーム - 改札	4996	1		

クローズアップ



建 物 外 観

ゼロカーボン ベースボールパーク

福 井 杏 菜
(Anna Fukui)

フジテック株式会社
近畿統括本部 営業推進部

1. はじめに

阪神タイガースファームの新たな本拠地として、兵庫県尼崎市「ゼロカーボンベースボールパーク」が誕生しました。スタジアムや練習場、選手寮兼クラブハウスに加え、地域住民が利用できる野球場や公園も併設しています。

このボールパークは脱炭素社会への貢献を目指し、太陽光発電による電力供給や、高性能断熱材を用いた省エネ設計を採用し、運営時の炭素排出量を実質ゼロに抑える取り組みを行っています。

地域と共生しながら、持続可能な未来を見据えた新しいスポーツ施設のモデルとなっています。

2. 建物概要

所 在 地：兵庫県尼崎市杭瀬南新町三丁目3

建 築 主：阪神電気鉄道株式会社

設 計：株式会社 久米設計

施 工：株式会社 熊谷組

建 築 用 途：ファーム施設

敷 地 面 積：約74,330㎡

建 築 面 積：7,120㎡

延 床 面 積：10,918㎡

構 造：RC造（一部、S造）

階 床 数：スタジアム 地上3階

軟式野球場 地上2階

室内練習場 平屋（選手寮一部分）

選手寮 地上3階

工 期：2023年3月～2025年1月

竣 工 日：2025年1月31日

開 業 日：2025年3月1日

3. 昇降機設備

昇降機設備は、エレベーター4台を納入しています。

このボールパークはエレベーターも環境に配慮した仕様となっています。かご内の照明は一定時間利用者がいない場合に自動で消灯するほか、オイルフリーで使用可能な振動抑制装置をかごの上下に設置、また、リサイクル性に優れたエコマテリアル電線を採用することで、省エネルギーと資源循環に貢献しています。

また、非接触ボタンを搭載しているためタッチレスで登録でき、ボタンに一切触れることなく目的階に移動することが可能です。不特定多数の方が利用する空間において、衛生面への配慮と快適性向上を実現しています。

持続可能な社会に向けた取り組みを、昇降機設備からも支えています。

クローズアップ



2,3号機 2階乗場



2号機 2階乗場



2号機 車いす操作盤



2号機 かご内



選手寮 4号機 1階乗場

エレベーター仕様（計4台）

バンク	号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
スタジアム	1	乗用	インバータ	乗合全自動方式	1000	15	60	1	3 (1～3)	フジテック	車いす仕様
	2	〃	〃	〃	1600	24	60	1	2 (1、2)		車いす仕様
	3	人荷共用	〃	〃	1750	26	60	1	2 (1、2)		
選手寮	4	乗用	〃	〃	600	9	60	1	3 (1～3)		

クローズアップ



建 物 外 観

TODA BUILDING

古 屋 寿 樹
(Toshiki Furuya)

三菱電機ビルソリューションズ株式会社
※東日本支社 設計統括部
※2024 年 3 月迄

谷 口 克 也
(Katsuya Taniguchi)

フジテック株式会社
首都圏統括本部 東ジョブ統括部

楠 本 政 行
(Masayuki Kusumoto)

横浜エレベーター株式会社
営業第一部

1. はじめに

アートとビジネスが交錯する芸術文化の拠点として、「TODA BUILDING」が竣工しました。

コンセプトは「人と街をつなぐ」。江戸期よりものづくりの文化が育まれ、今も「骨董通り（東仲通り）」をはじめ多くの芸術資産が息づく京橋の地に、アートとビジネスが交錯する場所を創出しています。

オフィスビルの枠を超え、芸術文化の拠点として、低層部にミュージアム、ホール&カンファレンス、ギャラリーコンプレックス、創作・交流ラウンジ、ギャラリー&カフェを設け、京橋の賑わいと文化的価値醸成に貢献しています。

建物はコアウォール 免震構造（1階床下に設けた免震層と建物中央に配置した連層耐震壁で高い耐震性能を確保）を採用することで、国内トップレベルの耐震性能（免振特級）を実現するとともに、中央通り側の広場の免震性を高め、災害時の帰宅困難者の一時滞在場所として、地域の防災対応力の強化を図っています。

2. 建物概要

所 在 地：東京都中央区京橋一丁目7番1号
建 築 主：戸田建設株式会社
設 計 監 理：戸田建設株式会社 一級建築士事務所
施 工：戸田建設株式会社
建 築 用 途：事務所、店舗
敷 地 面 積：6,147.44㎡
建 築 面 積：4,679.32㎡
延 床 面 積：約94,912㎡
構 造：地上コアウォール免振構造（RC造、S造）
地下RC造、SRC造
階 床 数：地下3階、地上28階、塔屋1階

建屋高、軒高：168.62m

工 期：2021年8月～2024年9月

竣 工 日：2024年09月30日

開 業 日：2024年11月02日

3. 昇降機設備

昇降機設備は、エレベーター 22台、エスカレーター 13台の計35台が設置されています。

【オフィス用エレベーター】

セキュリティ連動行先予報システムを導入しています。エントランスフロアではゲートを通過することで、また、オフィスフロアでは乗場操作盤で行先階を入力することで、エレベーターの行先階が登録されます。かご内でのボタン操作が不要となり、スムーズな移動が可能です。

かご室はオフィスエレベーターの仕様としては珍しく、ステンレス鏡面仕上を多く採用し、広々とした空間を演出しています。

【低層用エレベーター】

かご室は宇宙船をイメージしたデザインで、艶のある白で統一した内装色と壁の角に丸みを付けたデザインが特徴です。

【エスカレーター】

4-6階へのエスカレーター 2台には、木漏れ日をテーマとした照明デザインを採用しています。エスカレーター内部に設置されたLED照明からランダムにこぼれる光が、上階への期待感を高めてくれます。

【荷物用エレベーター】

通常の荷物用エレベーターと比べて間口がかなり広い特殊なエレベーターで、荷物等の出し入れがしやすい構造です。

クローズアップ



オフィス低層用エレベーター 3階オフィスエントランス



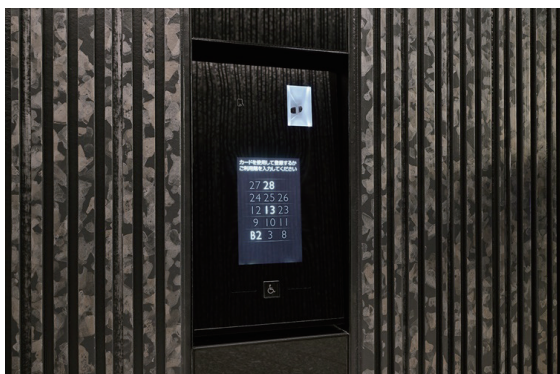
オフィス低層用エレベーター 3階エレベーターホール



オフィス低層用エレベーター 8階エレベーターホール



オフィス低層、高層用エレベーター 13階エレベーターホール



乗場操作盤



オフィス用エレベーター かご内



オフィス用エレベーター かご操作盤



オフィス用エレベーター 車いす操作盤



低層用エレベーター かご内



低層用エスカレーター ステップ下照明

クローズアップ

エレベーター仕様（計 22 台）

バンク	号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
オフィス低層	OL1～4	乗用	インバーター	全自動群管理方式	1800	27	210	4	14 (B2、3、8～13、23～28)	三菱	セキュリティ連動行先予報システム ロボット連携、スマホ呼び連携
オフィス中層	OM1～8	乗用	〃	全自動群管理方式	1800	27	240	8	14 (B2、2、13～23、28)		セキュリティ連動 行先予報システム
オフィス高層	OH1～4	乗用	〃	全自動群管理方式	1800	27	300	4	8 (B2、2、13、23～27)		セキュリティ連動 行先予報システム
非常用1	E1	人荷用	〃	乗合全自動方式	1800	27	180	1	30 (B3～B1、1～27)		兼非常用
非常用2	E2	人荷用	〃	乗合全自動方式	1800	27	180	1	31 (B3～B1、1～28)		兼非常用
低層用	L1、L2	乗用	〃	群乗合全自動方式	950	14	105	2	6 (B2、1～4、6)	フジテック	L1号機のみ車いす仕様
店舗用	C1	乗用	〃	乗合全自動方式	950	14	60	1	3 (1～3)		車いす仕様
荷物用	A1	荷物用	〃	単式自動運転方式	4550	－	60	1	5 (1、3～6)	横浜エレベータ	

エスカレーター仕様（計 13 台）

バンク	号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高（揚程） (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
オフィスエントランス （中層・高層）	ESC1～3	S1000	透明ガラス	30	1-2	6000	3	フジテック	スカートガード照明、低速待機運転
店舗用	ESC4、5	S600	透明ガラス	30	1-2	6000	2		スカートガード照明、低速待機運転
低層用	ESC6、7	S1000	透明ガラス	30	2-3	6000	2		スカートガード照明、低速待機運転
オフィスエントランス （低層）	ESC8、9	S1000	透明ガラス	30	2-3	6000	2		スカートガード照明、低速待機運転
低層用	ESC10、11	S1000	透明ガラス	30	3-4	6000	2		スカートガード照明、低速待機運転
低層用	ESC12、13	S1000	透明ガラス	30	4-6	11000	2		ステップ下照明、低速待機運転

十人十色 エレ人十色、昇降機業界に携わる人々の紹介



No. 12

1. プロフィール

名 前：杉本 絵理子
 な ま え：すぎもと えりこ
 会 社 名：東芝エレベータ株式会社
 所 属 部 署：神奈川支社 営業技術部
 営業技術第一グループ
 職 種：営業技術
 入 社 年 度：2022年度



2. 担当業務について

私は、新設物件の営業技術を担当しています。営業技術業務とは、受注物件に対してお客様へのコストや納期を踏まえた最適な仕様提案、着工や工事使用等のスケジュール管理、及び昇降機の製作指示、等受注から引渡までを一貫して担当する業務です。特定物件の受注前技術支援活動も行い、社内外を問わず様々な方と関わり、橋渡しの役割を担っています。私は今年4月に異動し、先輩の業務のお手伝いをしながら勉強している最中です。

昨年度までは、入社から3年間、本社BIM設計部に所属し、支社のBIM設計支援や非標準仕様の技術検討支援等を行っていました。中でも非標準仕様の技術検討は、工場の設計や製造、見積、物流に関する多くの部門の方と連携を経験できました。

学生時代は化学を専攻していたためCADソフトを全く

触ったことがなく、建築、機械、電気の知識も不足していました。そのため、図面の読み取りやモデル作成、専門用語を理解することには大変苦労しました。それでも先輩方の1つ1つ丁寧な指導により、少しずつ理解を深め、1人で業務を遂行できるようになりました。現在の部署でもBIM設計部での経験を活かし、お客様の視点、ものづくりの視点や考え方を忘れずに幅広い視野で考え、人との関わりを大切に日々精進していきます。

3. 趣味など

趣味はライブと野球観戦です。バンドやアイドルなど様々なジャンルのアーティストが好きで多くのライブに行っています。以前初めて屋外ライブに参戦した時に、開放感のある屋外でのライブの楽しさに目覚めました。今年は夏の野外フェスにも参戦し、楽しみたいと思います。

野球観戦は、友人と仕事終わりや休日に月2回程度行っています。最近は球場のフード巡りが好きでいろいろなグルメを楽しんでいます。

4. 読者へのメッセージ

現在の職種は女性がとても少なく、全国で2人しかいません。営業や事務などの職種では女性の比率が高くなってきていますが、技術職はまだ低いのが現状です。男女問わず誰もが働きやすい職場づくりを目指し、ワークライフバランスを保ちながら一層業務に励んでいきたいと思っています。

5. 上長のコメント

4月に初めての転勤を経験し、新たに営業技術業務に従事して貰っています。不安はあったと思いますがBIM設計支援で培ったスキルがあるので上長として心配はしていません。明るい性格で多くの部署とのコミュニケーションも図れており、職場の雰囲気は明るくなりました。これから多くのことを学びステップアップしてくれることを期待しています。

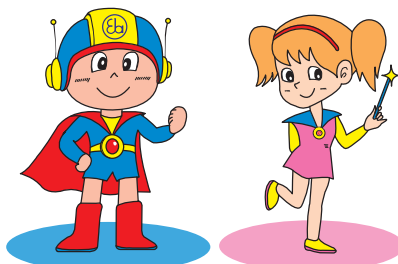
11月10日は「エレベーターの日」

1890年（明治23年）11月10日、東京、浅草に完成した12階建ての展望塔「凌雲閣」に、日本初の電動式エレベーターが設置されました。

日本エレベーター協会では、この11月10日を「エレベーターの日」と定め、昇降機の安全、安心な利用のためのキャンペーンを実施しています。



凌雲閣（りょううんかく）



ベータくん

エスカちゃん

編集後記

いつもエレベータージャーナルをご愛読いただきありがとうございます。

今年も梅雨に入りましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。寒暖の差や気圧の変化で体調を崩しやすい季節です。また、蒸し暑い環境は熱中症の危険性もありますので、十分注意しながらお過ごし頂ければと思います。

話は変わりますが、今の世の中、当り前のように使っているスマートフォンやタッチパネル、それに電気自動車など、私が子供の頃に見た近未来SFの中のお話が現実となり、ごくごく身近なものとなりました。便利な世の中になったなあと思う反面、最先端の技術と情報で溢れている今の時代は、未来へ憧れや想いを馳せる事も昔より少なくなったのではないかと、少し寂しい気もします。

そんな中、「空飛ぶクルマ」が来年販売開始されるというニュースが目に見え込んできました。大阪・関西万博でも展示、デモ運航されていましたが、今回ニュースで見た「空飛ぶクルマ」は、4輪のタイヤが付いており道路も走行できるというものでした。自動車と飛行機が合体したその姿が空を飛ぶ様子に、子供の頃に見た近未来を感じ、久しぶりに胸が高鳴りました。

エレベーターも年々進化し続けていますが、昔の近未来SFの中にだけ登場した、レールやロープが無いエレベーターや縦横移動するエレベーターなども、近い将来本当に実現するかもしれません。昇降機業界にもそんなワクワクがあってもいいのかなと思う今日この頃です。

今年の梅雨も後半になり、いよいよ夏です。今年も猛暑になりそうですので、体調に気をつけながら過ごしたいと思います。そして、エレベータージャーナルも暑さに負けず、充実した情報をご覧いただけるよう編集委員一同努めて参ります。引き続きご愛顧のほどよろしくお願い致します。
(三ヶ田 記)

ELEVATOR JOURNAL 2025年7月発行 No.54

編集委員 ◎委員長 ○副委員長

◎渋谷 宣恭 株式会社 日立ビルシステム

○西村真由美 フジテック株式会社

箱田 将和 東芝エレベーター株式会社

志賀 正己 三菱電機ビルソリューションズ株式会社

三ヶ田昌紀 日本オーチス・エレベーター株式会社

発行者 橋本安弘

発行所 一般社団法人日本エレベーター協会

〒101-0031 東京都千代田区東神田2丁目5番12号
龍角散ビル4階

TEL (03) 5829-3457 FAX (03) 5829-5061

URL : <https://www.n-elekyo.or.jp>

㊤ 一般社団法人日本エレベーター協会